

ねん がつ か かいさい
R3年7月24日開催

「オンラインによる夜の生き物観察会・夜の生き物の世界をのぞいてみよう！」より



蛾の帝王 (石川和宏氏) に聞いてみた!

質問コーナー

注) 質問の内容は原文のまま引用しています。

質問1 「よとうが」とはなんですか？

回答1 漢字では「夜盗蛾」と書きます。幼虫が夜行性で、夜に野菜や樹木の葉っぱや茎、根などを食い荒らすため、この名前が付けました。農家さんにとっても嫌われる害虫です。



オオシマカラスヨトウ

質問2 コガネムシとカナブンの違いはなんですか

回答2 カナブンは、主に樹液を餌にする、頭部が四角く背面が平らになった、広い意味でのコガネムシのなかまに含まれるコウチュウです。いわゆる広い意味でのコガネムシは、専門的な分類では「コガネムシ科」に含まれるコウチュウ類全体を指します。なお、狭い意味では、種としての「コガネムシ」もいるため、単にコガネムシといった場合、どちらを示しているか注意が必要です。



コガネムシ



カナブン

質問3 コガネムシはなんでよく飛ぶんですか？

回答3 コウチュウの多くは、敵に襲われるとまず足を縮めて落下して身を守ります。その後、その場所から遠ざかるため、飛んで逃げるものも多いのですが、コガネムシは、上翅を閉じたまま、下翅を広げて飛ぶことができる種類も多く、飛んで逃げるのに適しているということがあげられます。

質問4 セミは何年生きるの？

回答4 日本国内にいるセミは、小型のツクツクボウシで1～2年、中型のアブラゼミで3～4年、大型のクマゼミで4～5年くらい幼虫の姿ですごします。羽化して成虫になってからは2週間～1ヵ月程度といわれています。



ツクツクボウシ



アブラゼミ

質問5 セミは何を食べるの？

回答5 成虫、幼虫とも、樹液を餌にしています。

質問6 昼間、カブトムシはどこにいるの？

回答6 地表近くの地面や堆肥の中、落ち葉の下などに隠れていることが多いです。しかし、樹液が出ているクヌギやコナラなどがあると、昼間でも、樹液に集まることがあります。

質問7 オオクワガタを卵から育てるにはどうしたらいいですか？

回答7 「菌糸ビン」と呼ばれるナラタケなどの菌糸を培養した飼育用具が販売されており、これを使用するのが一番確実だと思います。

質問8 カブトムシはかに山にいますか？

回答8 はい。かに山にも生息しています。

質問9 Tシャツの背中に描いてある蛾は何という蛾ですか

回答9 「コスカシバ」というスカシバガの一種です。スカシバガは、漢字では「透羽蛾」と書き、翅に鱗粉がなく透明である種が多いのが名前の由来です。このなかまは、幼虫が植物の幹や茎の中を食い荒らす害虫として知られているほか、成虫が昼行性でハチやアブなどに擬態している種が多いことでも知られています。



コスカシバ

質問10 森での蚊対策はどうされていますか

回答10 虫よけスプレーや、蚊取り線香が効果的です。また、長袖、長ズボンなどで、皮膚が露出する面積を減らすことも効果があります。

質問11 何でそんなにたくさん虫の名前を知っているんですか？

回答11 子どものころから生き物が好きで、図鑑を見たり、父親に連れられて昆虫採集に行ったり、標本作成をしたりしているうちに、自然に覚えていきました。

質問12 カブトムシがみたいです。

回答12 オンラインイベントの会場近くでは、カラスに食べられた残骸のはねや脚が散らばっていました。また、今回のイベント中にもメスがやってきましたので、マメに通えばみられると思います。

質問13 トンボはどうして夜に飛んないのですか？

回答13 トンボはとても目が良く、飛びながら餌となる昆虫を見つけて捕まえます。しかし、夜間は暗くなるためその目があまり見えなくなることから、枝などにつかまって休んでいます。なお、ミヤマアカネなどの一部のトンボは、休んでいるそばでライトトラップなどの照明をつけると、目が見えるようになり、餌となる昆虫を見つけて飛んできてくれます。



ミヤマアカネ

質問14 かに山にはどんなクワガタがいますか？

回答14 これまでにコクワガタ、ヒラタクワガタ、ノコギリクワガタがみつかっています。ただ、ヒラタクワガタは割と珍しいと思います。



コクワガタ



ヒラタクワガタ



ノコギリクワガタ

質問15 ユキグニコルリクワガタは何処に生息していますか

回答15 東北から北陸，中部などを中心とした高地のブナ帯に生息しています。関東地方では群馬県でも記録があります。

質問16 カメムシのくさいにおいはどこから出てきているんですか？

回答16 カメムシの腹部の裏側に臭腺と呼ばれる黒い点のように見えるところがあり，ここから臭い液を出します。

質問17 かに山にヒラタクワガタはいるんですか？

回答17 はい。とても珍しいですが，生息しています。

質問18 ゴキブリも来ますか？

回答18 ゴキブリも来ます。特に，モリチャバネゴキブリという樹林性のゴキブリは，ライトトラップに飛来することが多いです。

質問19 カメムシの卵と，蛾の卵の見分け方は？

回答19 種類によって違いはありますが，カメムシの卵は比較的円筒形をしているものが多く，蛾の卵は丸みを帯びているものが多いような気がします。

質問20 コガネムシは何を食べるんですか？

回答20 コガネムシのなかまの食性は，大きく「草食」，「肉食」，「糞食」の3つに分けることができます。「草食」のものは，カナブンやマメコガネなど，いわゆる一般的なコガネムシのなかまです。「肉食」のものは，コカブトムシですが，狭い飼育ケースなどで餌が不足すると普通のカブトムシでも共食いすることがあります。「糞食」のものはセンチコガネやマグソコガネ，エンマコガネとよばれるなかまで，センチとは雪隠（便所）のこと，マグソは馬糞でみられることなどに由来しています。なお，エジプトなどで有名なフンコロガシ（タマオシコガネ）もこの糞食性コガネムシのなかまで，日本国内でも「マメダルマコガネ」という体長2mmのフンコロガシが見つかっています。

質問21 来る虫は何種類くらいですか？

回答21 時間帯や周りの環境，調査時期によって大きく異なりますが，日没後，2時間くらいで少ないところで数十種，多いところでは数百種飛来します。

質問22 何で蛾は夜に来るけど，蝶はこないんですか？

回答22 チョウも蛾も同じ「鱗翅目（チョウ目）」という分類群に含まれます。生態的にみると，蛾のなかまの一部が昼間に行動するようになり，それらをまとめて「チョウ」とよんでいるため，そもそもチョウは夜に活動しないものが主体です。ただし，ジャノメチョウのなかまなど，普段から暗い場所で暮らしているチョウのなかまは，夜間，ライトトラップに飛来することがあります。

質問23 ノコギリクワガタはひっくり返ると死んじゃうんですか？

回答23 ひっくり返ると死んでしまうということではなく、弱って死にそうになると、ひっくり返ったまま起き上がれなくなるということだと思えます。

質問24 クビキリギリスは、なぜクビキリギリスというなまえなんですか？

回答24 クビキリギリス（クビキリギリス）は、肉食性のキリギリスの一種です。そのため、あごの力がとても強く、かみつかれると血がにじむほどです。しかし、かみつく力が強いことに対し、頭と胸をつなぐ首の部分はとても弱く、かみつかれた拍子にあわててとろうとすると、かみついたまま頭を残して首がちぎれてしまうことから、「首切ギリス」という名前がつけました。



クビキリギリス

質問25 ノコギリクワガタのあごは閉じるんですか？

回答25 あごは閉じますが、個体によっては、あごの先に隙間ができてしまうものもいます。



ノコギリクワガタのあご

質問26 コガネムシのなかまは、そんなに光ったら鳥などに見つかりやすくないのですか？

回答26 魚のイワシなどと同じで、キラキラすることで、目くらましの効果があるようです。中南米に生息するプラチナコガネのなかまは、体の表面に独特な金属光沢があり、鏡のように周りの物が写りこんでしまうくらいピカピカであるため、かえって姿が分かりにくくなっています。



プラチナコガネ

質問27 コクワガタは、どうしてずっと小さいのですか？

回答27 コクワガタは体を小さくすることで、小さな隙間や倒木の下などに隠れやすくなるように進化したと思われます。そのため、体を大型にして身を守るオオクワガタなどと違い、小さなままになったものと思います。

質問28 石川さんがかに山で見つけたら1番テンションが上がる虫は何ですか？

回答28 ヤマトタマムシです。死んだ後ののはねや、上空を高くきらきら光りながら飛んでいる姿は割とよくみられますが、やはり目の高さで止まっている生きた個体の美しさは言葉で表し切れません。



ヤマトタマムシ

質問29 カブトムシは夜は何時ころから捕まえますか？朝は何時ころから捕まえばいいですか？

回答29 カブトムシの活動時間は、夜は概ね日没後1時間から2時間程度、朝は夜明け前1時間程度です。その時間帯に樹液の出ている樹のまわりを探すと見つかるかもしれません。

質問30 アマミマルバネの亜種のウケジマルバネクワガタは激レアですか？

回答30 はい。ウケジマルバネクワガタは、奄美群島の請島だけに生息するクワガタムシで、個体数自体もとても少なく、ほとんど見ることができません。また、1994年に鹿児島県条例で採集が禁止されたことに加え、2016年には「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」に基づく国内希少野生動植物種に指定され、捕獲や譲渡が原則として禁止されているため、さらにみられる機会は少なくなっています。

質問31 かに山には何種類のカブトムシがいますか？

回答31 いわゆる普通のカブトムシ（ヤマトカブトムシ）と、肉食性のコカブトムシの2種が生息しています。



カブトムシ



コカブトムシ

質問32 世界中で虫が減っていると聞きますが、先生もそう感じられますか？

回答32 はい。昔はよく見かけたのに、最近は見かけなくなったと感じる昆虫類も多いように思います。

質問33 虫以外の生き物も来ますか？

回答33 虫を餌にするトカゲやカエル、クモのなかまなどは、ライトトラップに集まってきた虫を求めてやってくる場合があります。

質問34 樹液のある場所でカブトムシとスズメバチが戦った時、スズメバチがカブトムシののどの間をさすことってありますか？

回答34 基本的にカブトムシとスズメバチが戦うことはないのですが、スズメバチがカブトムシを刺すことはほとんどないと思います。

質問35 蜘蛛はどうして昆虫じゃないのですか？

回答35 昆虫とクモでは、体のつくりが違います。昆虫は、体が「頭部」「胸部」「腹部」の3つに分かれますが、クモでは頭と胸が一体化した「頭胸部」と「腹部」の2つにしか分けません。また、昆虫は、6本の脚と2本の触角をもっていますが、クモは、8本の脚があり触角をもっていないという点が違います。

質問36 なぜ蛾が好きなんですか？

回答36 蛾には多くの種類がいて、それぞれ大きさや色、形、模様など見た目が違っていたり、生態も多様化していたりとも見ていて飽きません。加えて、夜行性の蛾の多くは、明かりをつけてくつろいでいるだけで、勝手に向こうからやってきてくれるため、苦勞をしないで観察できるというのも魅力です。

質問37 かに山には蛇もいますか？

回答37 はい。ヒバカリ、アオダイショウ、シマヘビなどがみられます。



ヒバカリ



アオダイショウ



シマヘビ

質問38 アリに似た糸を出す生き物を見ましたが、あれは蜘蛛ですか？

回答38 はい。アリゲモという、アリそっくりのクモです。アリは、6本の脚と2本の触角がありますが、アリゲモは、8本の脚のうち、一番前の2本を上にあげて、さも触角であるかのように見せかけて行動しています。



アリゲモ（雄・あごが長い）



アリゲモ（雌・あごが短い）

質問39 肉食ではないクモはいますか？ 草食とか。

回答40 これまで見つかっているクモのなかまはすべて肉食性です。草食性のクモは見つかっていません。

質問40 ノコギリクワガタはなぜ平べったいのですか？

回答40 木の裏や隙間に潜り込んで隠れるのに適した体つきになったといわれています。

質問41 ヘビをつかまえていいのですか？

回答41 基本的に、ヘビは採集禁止です。特に、かに山をはじめとする緑地の多くは、自然環境を守るために、動植物の採集を禁じているところが多いので、注意してください。

ー以上です。たくさんのご質問、ありがとうございました！